

# 一般国道2号 東広島・安芸バイパス全線開通

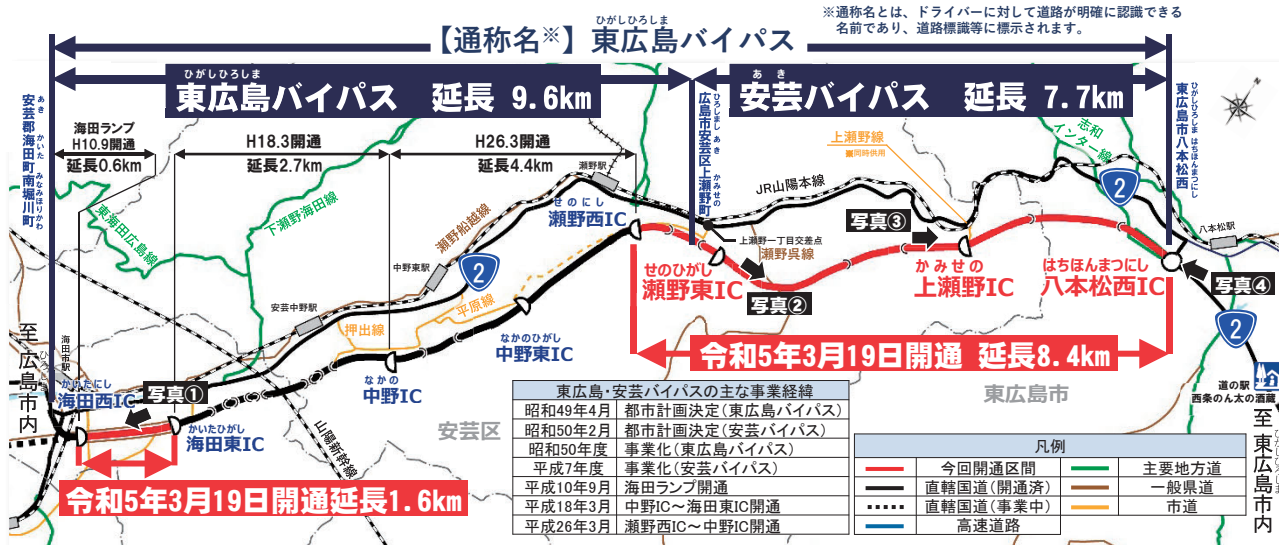
～計画から半世紀、都市と都市・人と人・未来への夢を繋ぐ道路が開通しました～

中国地方整備局 広島国道事務所

## 1. 事業概要

大阪市から北九州市を結ぶ一般国道2号は、西日本の大動脈として、地域の産業・社会活動や住民生活に大きな役割を果たしています。一般国道2号のうち、東広島市から広島市を結ぶ区間においては、慢性的な交通渋滞が日常生活や経済活動の支障となっていました。また、瀬野川沿いを走るこの区間では、幅員が狭く、カーブや勾配が急なため、交通事故等による一時的な通行止めが発生することもあり、こうした事故や災害により通行止めになったとしてもこれに替わる迂回路がない状況でした。

東広島・安芸バイパスは、こうした問題などの解決を目的とした東広島市八本松西から安芸郡海田町南堀川町まで至る全長17.3kmのバイパスです。平成10年9月の海田ランプの開通以降、平成18年3月に中野ICから海田東ICまでの延長2.7kmの区間が、平成26年3月に瀬野西ICから中野ICまでの延長4.4kmの区間が順次開通し、令和5年3月19日には残る八本松西ICから瀬野東ICまでの延長8.4kmの区間と海田東ICから海田西ICまでの延長1.6kmの区間の計10.0kmが開通し、昭和49年及び50年の都市計画決定から半世紀の時を経て、東広島・安芸バイパスが全線開通しました。



位置図



写真① 海田高架橋付近

写真② 熊野川高架橋付近

写真③ 清谷高架橋付近

写真④ 八本松西IC付近

## 2. 全線開通記念イベントや開通式典等の開催

東広島・安芸バイパスの全線開通に先立ち、関係機関相互の緊密な連絡協力体制を確立し、災害対応に万全を期することを目的としたトンネル防災訓練や、バイパスの利用促進や気運醸成を目的とした報道関係者向けの試走会を開催しました。

開通直前の3月12日(日)には、広島市と東広島市、海田町で構成される実行委員会が主催となり、地元自治会や民間企業等の多数の方々の協賛・協力により、海田高架橋、瀬野東IC付近、八本松西IC付近の3会場でバイパスの全線開通を記念したイベントが開催されました。イベントでは、今回開通区間に整備された高架橋上・トンネル内の記念ウォーキングや、飲食・物販・観光ブース、キッチンカー、特設ステージ上でのダンスや演奏の披露、東広島・安芸バイパスのパネルや照明車・パトロール車などの展示等による事業PRなどがあり、沿線住民の方々をはじめとした約12,000人が参加し、新設の真新しい道路の散策やバイパス上からの景色などを楽しみながら事業の必要性を知っていただくとともに、自動車専用道路による観光交流等に期待感を高めていただきました。

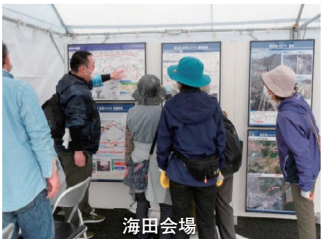
トンネル防災訓練



全線開通記念イベント



全線開通記念イベント 事業PR



開通式典当日の3月19日(日)には、斉藤鉄夫国土交通大臣をはじめ、関係国会議員や沿線自治体の首長、地元の方々を含めた約220名が式典会場の海田中学校に参列し、テープカットやくす玉開披を執り行うとともに、広島市や東広島市、海田町の方々より、和太鼓やギター・マンドリン、吹奏楽の演奏を行っていただき、半世紀にわたる事業の全線開通を祝っていただきました。開通式典後、今回開通区間である海田高架橋上において、陸上自衛隊第13音楽隊のファンファーレと演奏の中、車両約30台による記念パレードを執り行い、同日17時30分に一般開放しました。



斉藤 国土交通大臣による主催者挨拶



テープカット・くす玉開披



海田鼓童子による和太鼓演奏



八本松中学校によるギター・マンドリン演奏



瀬野川東中学校による吹奏楽演奏



陸上自衛隊 第13音楽隊によるファンファーレ演奏

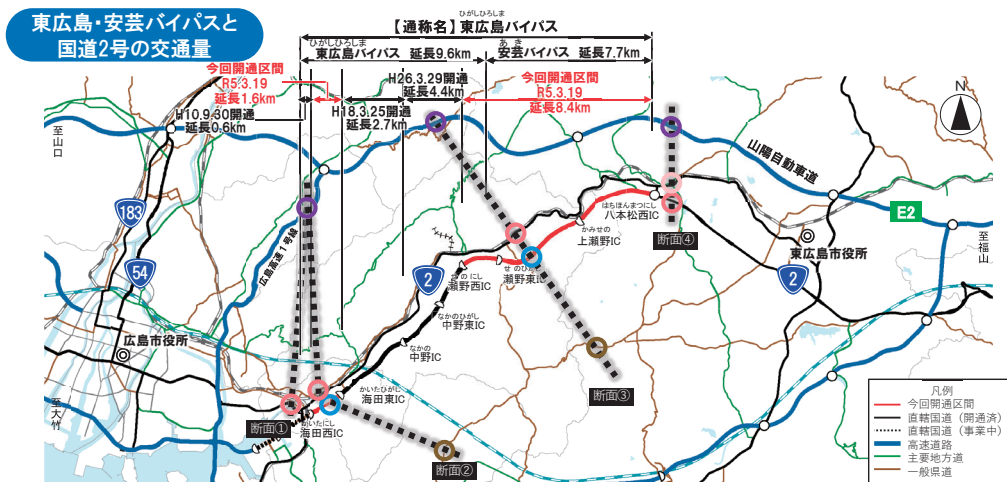


記念パレード状況

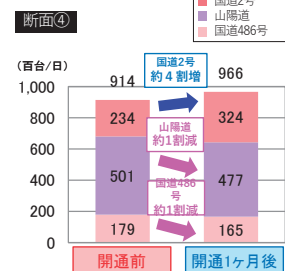
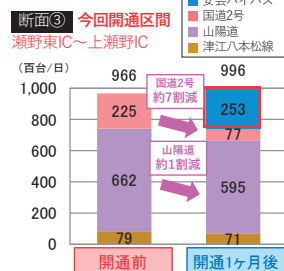
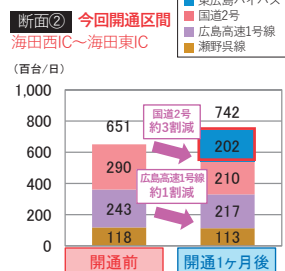
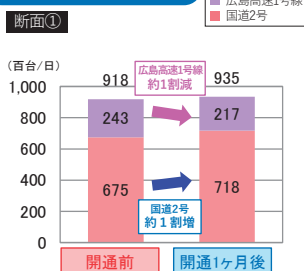
### 3. 全線開通による整備効果

八本松西 IC から海田西 IC までの全長 17.3km の東広島・安芸バイパス本線が全線にわたり繋がることで、円滑な交通の確保など様々な効果が期待されています。

開通 1 ヶ月後における今回開通区間の交通量は、東広島バイパスの海田西 IC から海田東 IC 間で約 20,200 台 / 日、安芸バイパスの瀬野東 IC から上瀬野 IC 間で 25,300 台 / 日であり、並行する国道 2 号の交通量が約 3 ~ 7 割減少するとともに、山陽自動車道や広島高速 1 号線など周辺の道路からも東広島・安芸バイパスへ交通が転換しました。

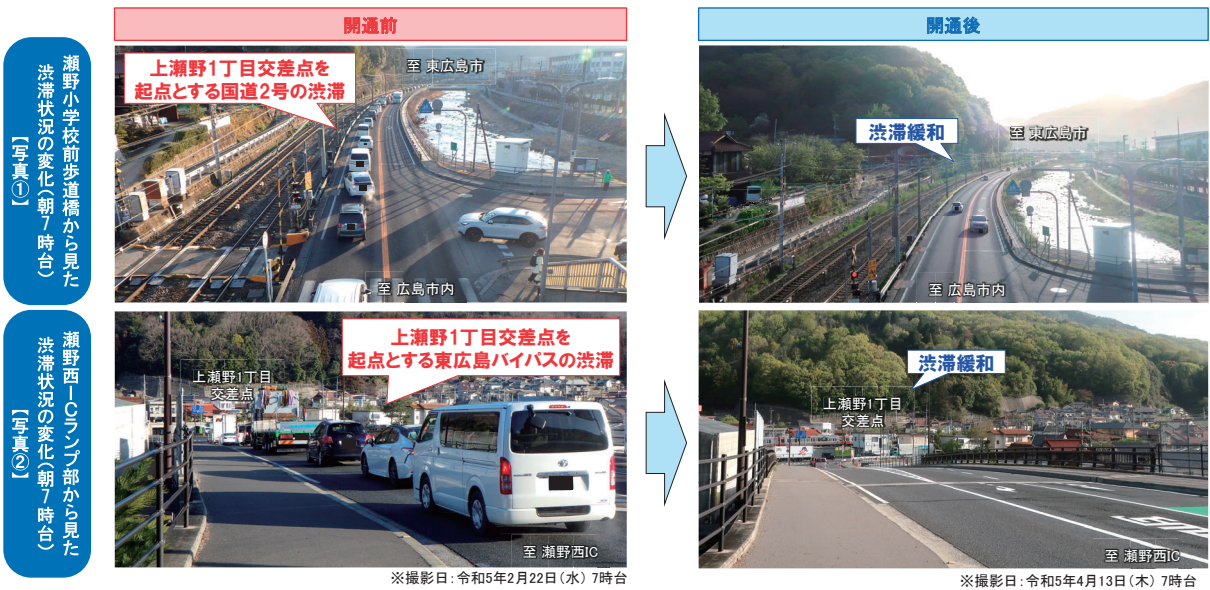
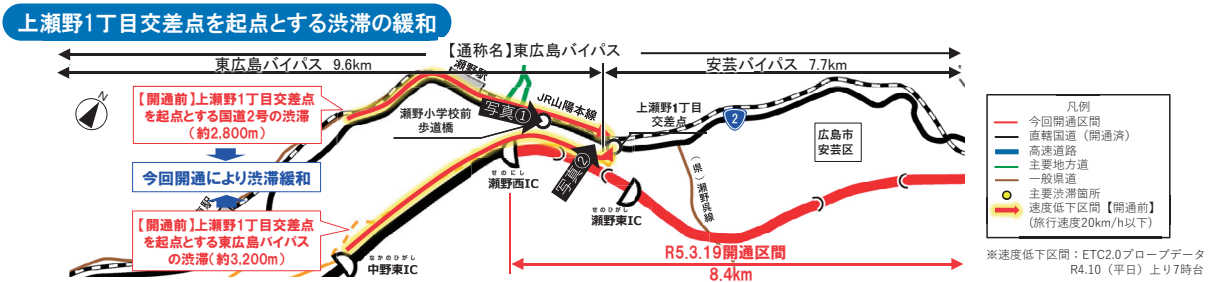


#### 断面交通量の変化



出典: 交通量調査結果【開通前】R4.11.10 (木)、【開通1ヶ月後】R5.4.20 (木) ※※【開通前】「瀬野線」津江八本松線」2号線の一部はR4、R3交通量調査結果より

全線開通前の朝の通勤ラッシュ時には、上瀬野1丁目交差点を起点として国道2号の現道・バイパスともに約3kmの顕著な渋滞が日常的に生じ、日々の生活や経済活動に大きな影響を及ぼしていましたが、東広島・安芸バイパスの全線開通に伴う交通の転換により、これら渋滞の緩和が図られ、円滑な交通の確保に寄与しています。



このような円滑な交通の確保に加え、交通分散による死傷事故の減少や災害時のリダンダンシーの確保、生産活動の効率化、空港利用の促進、円滑な救急搬送の実現などバイパス開通による様々な効果が期待されている中、昨年7月にオープンした道の駅「西条のん太の酒蔵」の来訪者からは、日常生活や観光、通勤など様々なシーンについて、バイパス開通による効果への期待が寄せられています。

開通に期待する様々な声が上がっています！



## 4. おわりに

計画から半世紀を経た東広島・安芸バイパスの全線開通により、都市と都市、人と人を繋いでいくことで、広島の未来への夢に繋がることを期待するとともに、広島国道事務所では、引き続き、国道2号の広島南道路（明神高架橋）や道照交差点改良、西条バイパス4車線化などの整備推進に努め、広島都市圏の更なる発展や地域の安全・安心の確保、災害に強い地域づくりに全力で取り組んで参ります。

